

市長から 市民のみなさんへ 55



山口県山口市市長 白井 博文

高潮対策事業について

8月2日深夜に宇部市付近に上陸した台風5号は、本市を直撃したにもかかわらず、大きな被害もなく、ホッと胸をなで下ろしているところです。最接近時が満潮と重なっていたため、深夜2時過ぎまで市役所に詰め、不測の事態に備えましたが、勧告を受けて、公民館などに避難された約150人の方々も明け方には帰宅され事無きを得ました。まさに“天祐”（天の助け）と言える今回の台風襲来でした。

長雨、台風の季節を迎える度に緊急の課題として、クローズアップされる高潮対策事業ですが、今年度、厚狭川、前場川、糸根川に合わせて4億7600万円の予算が国から山口県に下りたところです。山口県全体で21億円ですから、本市における事業費が県全体の約23%を占めていることとなります。国、県の本市に対する配慮に感謝するとともに、来年度以降も引き続き、予算獲得ができるよう関係機関への要望、陳情を続けていくつもりです。

乳児保育園の民営化について

下記にありますように、厚狭図書館横にある乳児保育園について「民営化」という方針を打ち出し、現在、保護者説明会を開催しているところです。合意形成が行わ

れた後、平成21年の春の民間事業者への移管に向けて、事務手続きを進めて行く予定にしています。説明会には私も出席させていただきましたが、直営、民営の問題よりも「保育の質の維持」という点に関心をお持ちの方が多数いらっしゃいました。民営化で保育サービスが低下することのないよう慎重に業者選定を行っていきたいと考えています。「もし応募事業者がいなかった場合はどうなるのか？」というご質問もいただきましたが、その場合は、引き続き市が運営していくこととなります。

関連して、市では現在、公共施設の統廃合について本格的な議論を行っているところです。しかしながら、この問題は市民のみなさんのご協力をいただければ実現しないものです。来年度以降、対象となる施設については、今回の乳児保育園のように市の考えをお諮りする場合は必ず設けますので、その際は説明会等にご出席いただき、様々なご意見をお寄せいただきたいと思います。

交通活性化計画を策定します

前ページには「交通活性化計画検討委員会」の募集記事を掲載しています。これは、一昨年に実施した路線バスのアンケートを基礎資料に、多くの市民、特に高齢者の方々にとって利用しやすい“生活の移動手段”の確保についての計画づくりを行う委員会です。公募の方以外に、運輸支局、バス、タクシー事業者などからもご参加いただく予定にしています。

最近、各種委員会の応募が少ないと聞いています。乗り物に関心のある方、今の交通体系に不便を感じている高齢者の方からの積極的なご応募をお待ちしています。

お詫び

8月8日に本市の消防職員と臨時職員が相次いで逮捕されるという事件がありました。市民のみなさんの期待と信頼を大きく裏切ることとなったことについて心から深くお詫び申し上げます。

今後は、全職員に対して、公私両面にわたっての更なる綱紀粛正を徹底し、二度とこのような事件がおこらないよう指導するとともに、市民のみなさんの信頼回復に向け、職員一丸となって、全力で職務に取り組んでいく決意です。

乳児保育園を民営化します

市では、この度、「乳児保育園民営化ガイドライン」を作成し、平成21年度を目途に乳児保育園について、民間移管方式（私立保育園への移管）による民営化を目指していくこととしました。

現在、第2回目の保護者説明会を終えたところですが、今後は園児への配慮を第一に考え、保育サービスの充実など、柔軟かつ効率的な保育園の運営を図れるよう努めてまいります。関係各位のご理解をお願いいたします。

【問い合わせ先】 児童福祉課（☎ 82-1207）